

2023年度（令和5年度）

事業計画書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会	
社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念.....	2
法人本部	
手稲ロータス会 法人本部.....	4
特養手稲	
職員内部研修計画.....	6
介護老人福祉施設 手稲ロータス.....	8
各種会議・委員会.....	11
年間行事予定.....	11
年間行事予算.....	12
手稲ロータス指定居宅介護支援事業所.....	13
老健手稲	
職員内部研修計画.....	17
介護老人保健施設 手稲あんじゅ.....	19
各種会議・委員会.....	20
年間行事予定.....	20
年間行事予算.....	21
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所.....	22
年間会議予定.....	23
年間行事予定・予算.....	23
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所.....	24
在宅手稲	
職員内部研修計画.....	26
(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう.....	29
年間会議予定.....	30
年間行事予定・予算.....	30
手稲ゆうゆう(介護予防)通所介護事業所.....	31
年間会議予定.....	32
年間行事予定・予算.....	32
手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所.....	33
手稲ゆうゆう(介護予防)訪問介護事業所	
・手稲ゆうゆう居宅介護事業所.....	34
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置.....	35
年間会議予定.....	36
介護予防普及啓発事業予定・予算.....	36

特養音更

職員内部研修計画.....	38
介護老人福祉施設 ロータス音更	40
各種会議・委員会	41
年間行事予定.....	41
年間行事予算.....	42
 ロータス音更(介護予防)通所介護事業所(標準型・認知症型)	43
年間会議予定(標準型)	44
年間行事予定・予算(標準型)	44
年間会議予定(認知症型)	45
年間行事予定・予算(認知症型)	45
音更町地域包括支援センター ロータス音更.....	46
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	47

老健音更

職員内部研修計画.....	49
老人保健施設 あんじゅ音更.....	51
各種会議・委員会	52
年間行事予定.....	52
年間行事予算.....	53
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所	54
年間会議予定.....	56
年間行事予定・予算	56
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所	57

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこまやかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

- ① ご利用者様の笑顔のために
 - ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
 - ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します
- ② ご家族様の笑顔のために
 - ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
 - ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します
- ③ 地域の皆様の笑顔のために
 - ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
 - ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
 - ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
 - ・環境にやさしい施設運営を目指します
- ④ 職員の笑顔のために
 - ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
 - ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

※各事業所における重点推進課題は基本方針の該当項目を関連づけて表示しております

手稲ロータス会 法人本部事務局

手稲ロータス会 法人本部

法人経営を安定なものにするため、拠点間の連携及び協力体制のより一層の強化に努める。

《重点推進課題》

1. 中長期計画の進行管理 《基本方針 ①②③④》

2022年度に策定した法人の中長期計画に基づき、各事業の目標数値や財務目標に対する進捗状況等の全体管理及び調整を行い、法人全体の継続的な事業の運営を図る。

【指標・評価方法】

専門家の視点を加えた分析（法人での把握と分析の他、会計事務所等に分析を依頼）を行い、各事業所共通の認識として捉え、より効果的・効率的な事業展開に努める。

2. 外国人労働者の導入に向けた調査・検討 《基本方針 ①②④》

介護従事者の雇用環境が厳しくなっていることから、事業の職員数安定に資する為にも外国人労働者の受け入れに関する他法人の実情や課題などを調査・検討を継続する。

【指標・評価方法】

札幌圏内や十勝管内ですでに外国人労働者を受け入れている事業者の実態を引き続き調査し、当法人に合う仕組みや費用効果を検証する。

特 養 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	感染症予防委員会
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	事故防止・苦情検討委員会
6月	食中毒の予防に関する研修	管理栄養士
7月	看取り介護に関する研修	音更特養の看取り士
8月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
9月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	感染症予防委員会
10月	事故発生又は再発防止に関する研修②	事故防止・苦情検討委員会
11月	緊急時の対応に関する研修(AEDの取扱い、人工呼吸法等)	施設内外の講師
12月	地震などの自然災害の防災に関する研修	施設内外の講師
1月	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防対策委員会
2月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
3月	認知症ケアに関する研修	施設内外の講師
その他	新人職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	接遇に関する研修	施設内外の講師
	個別ケア、ユニットケアに関する研修	施設内外の講師
	移乗動作、食事や排せつなどの介護技術に関する研修	施設内外の講師
	法令遵守(プライバシーの保護など)の取組みに関する研修	施設内外の講師
	レクリエーションに関する研修	施設内外の講師
	ハラスメント対策についての研修	施設内外の講師
	避難訓練(火災:年2回～日中想定、夜間想定(2023.11.15(水)10:30実施予定)	札幌市防災協会等
	避難訓練(地震:年1回)	札幌市防災協会等

(手稲ロータス居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
6月	食中毒の予防に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
7月	看取り介護に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
8月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
9月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
10月	事故発生又は再発防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
11月	緊急時の対応に関する研修(AEDの取扱い、人工呼吸法等)	併設する介護老人福祉施設と共同開催
12月	地震などの自然災害の防災に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
1月	褥瘡予防に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
2月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
3月	認知症ケアに関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
その他	新人職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	事例検討会	法人内の居宅介護支援事業所と共同開催
	介護保険制度の改正に関する研修	法人内の居宅介護支援事業所と共同開催
	接遇に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
	地域における社会資源の活用に関する研修	法人内の介護予防センター相談員
	法令遵守(プライバシーの保護など)の取組みに関する研修	施設内外の講師
	ハラスメント対策についての研修	施設内外の講師

介 護 老 人 福 祉 施 設 手 稲 口 一 々 ス

手 稲 口 一 々 ス 指 定 居 宅 介 護 支 援 事 業 所

介護老人福祉施設 手稲ロータス

ご入居者様にとって「居心地の良い」生活の場となることができるよう、ご入居者様一人ひとりの生活スタイルを尊重することを前提として、職員一人ひとりがご入居者様の声に耳を傾け、寄り添い、想いや願いを実現できるユニットケアを構築する。

また、新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策を見直し、ご入居者様とご家族様が共に過ごすことができる時間を大切にするとともに、お互いの想いを共有でき、笑顔になれる環境づくりを促進する。

さらに、地域の皆様に求められる施設となるよう、一層、関係機関への働きかけを続けて関係性を深めるとともに、科学的根拠に基づくケアを促進して、ご入居者様が安心・公平にサービスを受けられる環境をつくり、併せて、職員が安心して長く働けるよう職場環境を整備する。

《重点推進課題》

1. ご入居者様にとって「居心地の良い」生活の場となるように、チーム全員でご入居者様が笑顔になれる生活環境をつくる 《基本方針 ①②④》

各専門職がご入居者様に寄り添い、連携・協力することで、ご入居者様の個性を大切にした生活を尊重し、ご入居者様の想いや願いを実現することができるよう、統一したユニットケアを通じて自立支援につながる取組みを進めることにより、「居心地の良い」生活の場にふさわしい生活環境をつくっていく。

【指標・評価方法】

日々の関わりやご家族様からの情報をもとに、ご入居者様の想いや願いを把握するとともに、これまでの生活スタイル等を確認する24時間シートの内容をさらに充実させ、日常のケアに活用することで、ご入居者様が望む生活スタイルや生活環境をつくっていく。

また、感染症法の改正により、新型コロナウイルス感染症の感染症分類が「5類」に変更されることに伴い、現行の感染予防対策を見直して、ご入居者様の屋内・外の活動内容を拡充させ、日常生活における「楽しみ」や「刺激」の機会を増やし、笑顔につながる環境づくりを進める。

さらに、「SHELL」による事故分析についての職員の理解を一層促進し、多角的な分析結果に基づく再発防止策を展開して、ご入居者様がより安全に生活できる環境の整備を

加速する。

加えて、ご入居者様が健康的な生活を維持できるよう、口腔衛生や排せつケア、感染症予防対策等に関して、外部の専門家から直接にアドバイスを受ける機会を定期的に設け、ご入居者様へのヘルスケアの質を高められる環境づくりを継続する。

2. ご家族様とご入居者様が同じ時間を過ごせ、互いに笑顔になれる環境をつくる

《基本方針 ①②》

新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策を見直して、ご家族様とご入居者様が共に笑顔で過ごせる時間の確保に向けて取り組むとともに、ご家族様にご入居者様の日常の様子をお伝えする取組みを継続・充実させる。

【指標・評価方法】

より多くのご家族様がご入居者様と会話できるよう、ビデオ通話等を継続・促進させるとともに、感染症法の改正による新型コロナウイルス感染症の感染症分類の変更に伴い、ご入居者様とご家族様の直接面会の実現をはじめ、外出や外泊等についての検討を進める。

また、ご家族様に、ご入居者様のご様子やケアの内容などをお伝えするため毎月発行・送付している「お便り(すまいるだより)」を継続していくとともに、ホームページや広報誌のほか、SNS媒体を活用し、ご入居者様の日常における活動の様子などを多角的に配信する等により、ご家族様により安心して頂ける取組みを継続していく。

3. 地域の皆様に求められる施設を目指す 《基本方針 ③》

広報誌の配布・回覧やインターネット通信を継続して、当施設における取組み等の情報を積極的に発信するとともに、近隣の保育園や小中高校及び町内会等の皆様と積極的に関わりを持ち、地域活動の拠点としての土台づくりを進める。

【指標・評価方法】

当施設が発行する広報誌を、地域の教育機関等の関係機関のほか、町内会を通じて地域住民の皆様に定期的に配布・回覧し、地域との関係性の構築を継続する。

また、町内会等から、地域活動に関する当施設への要望等の情報を収集し、今後における地域活動の受け皿としての準備を進めるとともに、地域貢献に向けた具体的方法を模索するなどして、地域から求められる高齢者介護に関する地域拠点となるための土台づくりを進める。

4. 科学的根拠に基づくケアと、安心して働き続けられる職場環境づくりの促進

《基本方針 ①④》

各専門職がご入居様様の心身状態を適切に評価し、科学的根拠に基づいてケアを実践することで、ご入居様様が安心かつ公平にケアサービスを受けることができるよう環境を整える。

また、移乗用介護ロボットの活用促進を始めとした業務環境の改善により、介護負担の軽減などを加速させるとともに、オンライン等のICT化を進めていく中で、一層、生産性の向上を目指すほか、職員が積極的に学びを深めることができる環境を整える。

さらに、職員が自らのアイデアを実行に移すことができる仕組みを構築し、職員一人ひとりが前進的かつ挑戦的になれる組織づくりを進める。

【指標・評価方法】

国の科学的介護データベース(LIFE(ライフ))を活用して、多職種が連携・協力しながら、科学的根拠に基づくケアが実践できる体制を構築する。また、eラーニングシステムの活用により、職員が積極的に学ぶことができる環境を整えながら、自らが専門的知識の学びを深められるよう働きかける。

さらに、ご入居様様の身体的負担の軽減や、ご入居様様が持つ能力をより発揮して頂くとともに、介護職員の腰痛の最大要因である身体的負担を軽減するため、移乗用介護ロボットの導入をさらに進める。

加えて、職員一人ひとりの発想やアイデアが可能な限り生かされるとともに、全ての職員が前向きにチャレンジでき、安心して長く働きたいと思える職場環境づくりを進める。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営会議	毎月第4水曜日 13:30～
	副主任等会議	毎月第1水曜日 16:30～
	職員会議	4月・7月・10月・1月第4水曜日16:15～
	フロア会議	月1回
	入居検討委員会	4月・7月・10月・1月第4水曜日10:30～
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第2木曜日 16:15～
	感染症予防委員会	5月・8月・11月・12月・1月・2月・3月第2月曜日 16:15～
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3火曜日 16:15～
	褥瘡予防対策委員会	毎月第3水曜日 16:15～
	看取り介護検討委員会	毎月第2水曜日 16:15～
	広報・研修委員会	毎月第1火曜日 16:15～
	口腔衛生向上委員会	毎月第1水曜日 16:15～
	衛生委員会	毎月第4水曜日 13:30～
	給食委員会	定期的に開催

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
5月	14(日)	母の日のお祝い	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
6月	3(土)	開設記念行事 ※	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。
	18(日)	父の日のお祝い	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
7月	22(土)	手稲ロータス夏まつり	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。
9月	16(土)	敬老祝賀会 ※	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。
12月	24(日)	クリスマス会・忘年会	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。
2月	3(土)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。
3月	3(日)	桃の節句	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。
通年	—	誕生会	各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施する。
	—	個別活動	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。
	—	地域活動	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時、実施する。

【備 考】

※「開設記念行事」は、入居者のご家族が交流できる機会とすることから、6月3日(土)又は6月4日(日)どちらかに実施。

※「敬老祝賀会」は、入居者のご家族が交流できる機会とすることから、9月16日(土)又は9月17日(日)どちらかに実施。

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	母の日のお祝い	14日 (日)	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 60 人		52,800	52,800
6月	開設記念行事	3日 (土)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 飲み物代 3,300 × 8 ユニット 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 26,400	22,000	118,800
	父の日のお祝い	18日 (日)	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 20 人		17,600	
7月	手稲ロータス夏まつり	22日 (土)	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。	模擬店材料代 1,100 × 200 人 装飾品代 2,750 × 8 ユニット 運営費 330 × 200 人	220,000	22,000 66,000	308,000
9月	敬老祝賀会	16日 (土)	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 被表彰者記念品代(100歳以上) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(喜寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(傘寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(米寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(卒寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(白寿) 3,300 × 3 人 表彰状の用紙代 2,000 × 1 袋 表彰状の額縁 330 × 18 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600	9,900 9,900 9,900 9,900 9,900 9,900 2,000 5,940 22,000	142,140
12月	クリスマス・忘年会	24日 (日)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 飲み物代 2,750 × 8 ユニット プレゼント代 550 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 22,000	44,000 22,000	140,800
2月	節分行事	3日 (土)	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。	入居者食事代 220 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
3月	桃の節句	3日 (日)	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。	入居者食事代 220 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
通年	誕生会	随時	各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施する。	プレゼント代 880 × 100 人	0	88,000	536,400
	個別活動	随時	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。	職員食事代 840 × 140 人 運営費 1,000 × 80 人	117,600	80,000	
	正月の装飾	随時	正月の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	
	レクリエーション活動	随時	各ユニットにてレクリエーションを企画し、随時、実施する。	年間活動費 26,400 × 8 ユニット (1ユニット月に2,200円)		211,200	
	地域活動	随時	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時、実施する。	運営費 2,200 × 12 回		26,400	
合 計					579,600	798,540	1,378,140

手稲ロータス指定居宅介護支援事業所

ご利用様が望む生活の実現に向けて、ご利用様の「自立」について、ご利用様やご家族様と一緒に考えるとともに、ご利用様が望む生活を自らが選択し、続けられるよう、居宅介護サービス事業者とインフォーマルサービス提供者が一体となって支援する。

また、ご家族様が抱える不安や悩みに共感しながら解決策を模索することで、ご家族様が意欲的に在宅介護に向き合える環境を整える。

さらに、介護支援専門員が互いの知識や技術等を分かち合うことで、ご利用様が望む生活の実現に向けて、より多くの観点からアプローチすることができるチーム作りを進める。

《重点推進課題》

1. ご利用者様と一緒に「自立」を追求し、個性が見えるケアプランづくりを進める

《基本方針 ①②》

ご利用様がこれまで歩んできた人生を敬うとともに、介護支援専門員が、ご利用様の「自立」について、ご利用様やご家族様と一緒に考えることにより、ご利用様が望むこれからの生活スタイルを明確にすることで、自立支援の観点に基づくその人らしい在宅生活を送ることができる個性的なケアプランを作成する。

併せて、ご利用様が望む生活を実現するため、より効果的にサービスの提供を受けることができるよう、多種多様な居宅介護サービス事業やインフォーマルサービスの情報収集と活用に努めるとともに、協力関係を一層促進させる。

【指標・評価方法】

ご利用様とご家族様が一緒に、「ご利用様らしい生活」とは何かを深く考えるとともに、個性的な生活を可能な限り実現・継続するうえでの課題解決を踏まえて、ご利用様がご自分で選択し、実践できるケアプランを作成する。

また、各種サービスを有効的に活用するため、居宅サービス事業やインフォーマルサービスに関する情報収集に努めることにより、サービスの選択肢をより多く持つことで得られる個別性を目指すとともに、日常的に居宅サービス事業者との連携を図ることにより、ご利用様の日々の変化や、生活課題の早期把握に努める。

2. ご家族様が抱く、在宅介護の悩みや不安を解消しご利用者様を共に支えていく

《基本方針 ②》

ご家族様が抱える、在宅介護に関する「不安」や「悩み」に共感し、その解決に向けて、ご家族様と共に考えていくことで、ご家族様が穏やかな気持ちで在宅介護を継続することができるようサポートする。

【指標・評価方法】

在宅介護に関するご家族様の「不安」や「悩み」を把握するために、定期的な訪問のほか、ご家族様への電話連絡やご家族様と面談の機会を持つことに加え、ご家族様の生活スタイル等を考慮したうえで、情報交換のために最適なコミュニケーションツールを模索し、活用することにより、不安や悩みの早期発見と共感に努める。

また、面談等の機会にご家族様が遠慮してしまうため伝わらない「想い」(不安・悩み)を把握する手段の一つとして、アンケートを実施するとともに、抽出されたご家族様の不安や悩みに対する解決策の情報提供や提案を行う。

3. 地域の関係機関などとの関係性の構築と、地域に求められる事業所の基盤をつくる

《基本方針 ③》

地域包括支援センターや医療機関等との関係性を深めることにより、各々が持つ社会資源の情報を収集するほか、研修会などの機会を通じて、社会資源や地域が抱える生活課題に関する情報共有を図り、ご利用者様の支援に生かしていく。

また、地域の皆様を対象とした「介護相談窓口」を継続的に開設することにより、地域の皆様との接点を増加させるなどして、地域が求める介護相談の拠点づくりの基盤をつくる。

【指標・評価方法】

地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と、日常的な関わりを通じて、互いの関係性を深めながら、ご利用者様の日常生活を支えていくために必要な社会資源に関する情報の収集に努める。

また、2022年度内に実施した地域の皆様対象の電話等による介護相談窓口の開設を継続するとともに、当事業所に併設する介護老人福祉施設や法人内の関係事業所との連携をさらに強化し、地域が求める介護相談に関する拠点事業所としての基盤づくりを進める。

4. ご利用者様の「想い」を実現できるチームを目指す

《基本方針 ①④》

ご利用者様が望む生活を可能な限り実現することを目指し、介護支援専門員が互いの知識や技術、経験を分かち合うことで、チーム全体のスキルアップにつなげる。

同時に、各々が事例検討会や施設内研修のほか、インターネット環境による研修に積極的に参加するなど、専門的知識や技術を学ぶ機会を継続的に持ち、専門職としてのスキルアップに努める。

【指標・評価方法】

ご利用者の「思い」を聴き取り、実現することができるよう、事業所内外の研修の機会を通じて、着実に介護支援専門員としてのスキルアップを目指す。また、介護支援専門員がそれぞれの経験だけに左右されず、ご利用者へ公正・公平にサービスを提供できるよう、日々の情報交換や会議等において、互いの経験や知識及び技術を共有するとともに、チーム全体で、事例の振り返りを行う。

老 健 手 稻

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	副主任相談員等
5月	褥瘡予防について	看護主任等
6月	感染症予防について①	感染症予防委員長
7月	業務継続計画(BCP)① 感染症発生時	部門長
8月	虐待防止について①	虐待防止委員長
9月	事故防止について①	事故防止委員長
10月	身体拘束防止について①	身体拘束廃止委員長
11月	感染症予防について②	看護主任等
12月	虐待防止について②	虐待防止委員長
1月	事故防止について②	事故防止委員長
2月	業務継続計画(BCP)② 自然災害	部門長
3月	身体拘束防止について②	身体拘束廃止委員長
随時	新規採用職員研修	各事業の主任等

介 護 老 人 保 健 施 設 手 稻 あ ん じ ゆ

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

多様化するニーズへの対応も求められている介護老人保健施設として、ICT の活用により業務の効率化を図り、ケアの充実化や新しい取り組みを進めている。

感染予防対策によりご入所様様の心身機能への影響もあるなかで、準備を進めてきた口腔衛生に関わる取り組みも含め、個別ケアの一層の充実を進めていきたい。

また、次期介護報酬改定を見据えて情報収集を行い、手稲あんじゅとして今後の在宅復帰支援の在り方や地域ニーズを踏まえた方向性の検討を進めていく。

《重点推進課題》

1. LIFE(科学的介護情報システム)の運用 《基本方針 ①④》

科学的介護推進体制加算を取得し、継続した運用のなかで情報共有とケアの統一化を図る。また次期介護報酬改定を見据え、その他の加算取得への取組や今後の展開について施設全体や地域のニーズと照らして検討を行っていく。

【指標・評価方法】

- ① 上半期に、科学的介護推進体制加算(Ⅱ)を算定する。
- ② 下半期に、LIFE運用状況の確認と今後の取組について検討を行う。

2. 情報の一元管理と口腔衛生に関する取組みによるケア内容の充実

《基本方針 ①》

口腔衛生管理加算算定のための取組から得られる情報を活用することにより、アセスメントやケア内容を充実させ、食やコミュニケーションに関わる QOL の維持向上を支援していく。

【指標・評価方法】

- ① 上半期に、口腔衛生管理加算(Ⅱ)を算定する。
- ② 下半期に、口腔衛生管理体制の定着と個別ケースに合わせた情報共有を行う。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	第1・3木曜日 17:00～
	グループ会議	各グループ月1回 17:00～
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	褥瘡予防対策委員会	第1木曜日 16:30～
	感染症予防対策委員会	第2木曜日 16:30～
	身体拘束廃止委員会・虐待防止委員会	第3木曜日 16:30～
	事故防止検討委員会	第4木曜日 16:30～
	広報委員会	第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3水曜日 17:00～
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11:00～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	各階1回 一週間	歌を楽しむ会 桜湯の日	季節の歌やカラオケなどを楽しんでいただく 桜の香りのお湯で季節を感じ、入浴後に飲み物を用意する
5月	各階1回 5月中	お茶会 テラスでガーデニング	新茶の季節を感じるお茶会をする テラスで花などを植え、日々の世話も楽しんで頂く
6月	1日 各階1回	開設26周年記念式典 テラスでシャボン玉	豪華な食事で開設記念日を祝い記念撮影を行う テラスでシャボン玉などを楽しむ
7月	一週間 各階1回	薄荷湯の日 テラスでアイスクリーム	薄荷の香りのお湯を楽しんで頂く テラスでアイスクリームなどを食べて頂く
8月	各階1回 各階1回 各階1回	花火 スイカ割り 盆踊り	花火をしたり観賞して楽しむ スイカ割りをしたり食べることで夏を楽しむ 音楽に合わせて身体を動かして頂く(事前に練習もする)
9月	18日 1回	敬老祝賀会 ソフトクリームの日	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う キッチンカーを招いてソフトクリームを食べて頂く
10月	各階1回 一週間	スポーツ大会 りんご湯の日	身体を動かして楽しむ いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる
11月	各階1回 各階1回	のど自慢大会 おやつレク	季節の歌やカラオケなどを楽しんで頂く 個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ
12月	後半で1回 12月中	忘年会(1年の振り返り) 年越し準備週間	皆さんで食事を囲み、一年を振り返る宴会をする 整容や装飾作りなどをして新年を迎える準備をする
1月	各階1回 一週間	お正月遊びの日 みかん湯の日	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ みかんの皮を入浴剤にして季節のお湯を楽しむ
2月	各階1回 3日	スポーツ大会 節分の豆まき	身体を動かして楽しむ 豆まきなど節分の風習を行う
3月	3日 一週間	ひな祭り行事 薬湯の日	季節を感じるお楽しみ行事 いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる

【備 考】

※「誕生会」各入所者の誕生日の11:00に実施

※「喫茶」(各階)毎週日曜日14:00～

※「避難訓練」年2回

※「音楽療法」「化粧療法」「個別外出」「地域交流事業」は感染症予防対策の状況に合わせて実施を検討していく

※年間行事予定については、感染症予防対策のため必要に応じて変更しながら実施していく

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

会 議	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	歌を楽しむ会 桜湯の日	各階1回 一週間	季節の歌やカラオケなどを楽しんで頂く 桜の香りのお湯で季節を感じ、入浴後に 飲み物を用意する	運営費 5,000 × 2 フロア 食材費等 300 × 90 人 運営費 10,000 × 1 回	27,000	10,000 10,000	47,000
5月	お茶会 テラスでガーデニング	各階1回 5月中	新茶の季節を感じるお茶会をする テラスで花などを植え、日々の世話も 楽しんで頂く	食材費等 700 × 90 人 運営費 5,000 × 2 フロア 運営費 50,000 × 2 フロア	63,000	10,000 100,000	173,000
6月	開設25周年記念 式典 テラスでシャボン玉	1日 各階1回	豪華な食事で開設記念日を祝い 記念撮影を行う テラスでシャボン玉などを楽しむ	入所者飲食代 800 × 90 人 運営費 20,000 × 1 回 記念品 1,000 × 90 人 運営費 10,000 × 2 回	72,000 90,000	20,000 20,000	202,000
7月	薄荷湯の日 テラスでアイスクリーム	一週間 各階1回	薄荷の香りのお湯を楽しんで頂く テラスでアイスクリームを食べる	運営費 10,000 × 1 回 食材費等 500 × 90 人 運営費 5,000 × 2 フロア	45,000	10,000 10,000	65,000
8月	花火大会 スイカ割り 盆踊り	各階1回 各階1回 各階1回	花火をしたり観賞して楽しむ スイカ割りをしたり、スイカを食べることで 夏を楽しむ 音楽に合わせて身体を動かして頂く	運営費 20,000 × 2 回 食材費等 300 × 90 人 運営費 5,000 × 2 回 運営費 10,000 × 2 回	27,000	40,000 10,000 20,000	97,000
9月	敬老祝賀会 ソフトクリームの日	19日 1回	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き 長寿を祝う キッチンカーを招いてソフトクリームを 食べて頂く	食事代 800 × 90 人 おやつ代 600 × 90 人 飲物代他 5,000 × 1 回 記念品代(男女最高齢) 12,000 × 2 人 記念品代(賀寿) 8,400 × 15 人 運営費 20,000 × 1 回 食材費等 350 × 90 人	72,000 54,000 5,000	24,000 126,000 20,000 31,500	332,500
10月	スポーツ大会 りんご湯の日	各階1回 一週間	身体を動かして楽しむ いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	運営費 10,000 × 2 回 運営費 10,000 × 1 回		20,000 10,000	30,000
11月	のど自慢大会 おやつレク	各階1回 各階1回	季節の歌やカラオケなどを楽しんで頂く 個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ	運営費 5,000 × 2 回 食材費等 500 × 90 人 運営費 5,000 × 2 回	45,000	10,000 10,000	65,000
12月	忘年会 年越し準備週間	下旬 12月中	皆さんで食事を囲み、一年を振り返る 宴会をする 整容や装飾作りなど新年を迎える準備をする	入所者食事代 800 × 90 人 飲物代他 10,000 × 1 回 運営費 10,000 × 1 回 運営費 15,000 × 2 フロア	72,000 10,000 10,000	30,000	122,000
1月	お正月遊びの日 みかん湯の日	各階1回 一週間	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ みかんの皮を入浴剤にして季節のお湯を楽しむ	運営費 10,000 × 2 回 食材費等 400 × 90 人 運営費 10,000 × 1 回	36,000	20,000 10,000	66,000
2月	節分の豆まき スポーツ大会	各階1回 各階1回	豆まきなど節分の風習を行う 身体を動かして楽しむ	運営費 10,000 × 2 フロア 運営費 10,000 × 2 回		20,000 20,000	40,000
3月	ひな祭り行事 薬湯の日	各階1回 一週間	季節を感じるお楽しみ行事 いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	運営費 10,000 × 2 回 運営費 10,000 × 1 回		20,000 10,000	30,000
その他	誕生会 音楽療法 化粧療法 買い物代行 個別外出 外出デイ レクリエーション費	随時 月1回 年6回 月2回 随時 年16回 随時	各入所者に誕生日プレゼントを贈る 音楽療法士による音楽療法 資生堂による化粧療法 ネットショッピングによる買い物 急なニーズに対応 季節折々の観光地や公共施設等へ外出 グループごとに行うレクリエーション等	プレゼント代他 1,100 × 90 人 委託料 10,000 × 12 回 委託料 11,400 × 6 回 実費 職員飲食代 940 × 30 人 運営費 15,000 × 1 回 職員・ボランティア飲食代 1,240 × 100 人 運営費 50,000 × 2 フロア	28,200 124,000	99,000 120,000 68,400 0 15,000 100,000	99,000 120,000 68,400 0 15,000 100,000
合 計					780,200	1,043,900	1,824,100

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

ご利用者様の高齢化や身体レベルの低下等を考慮しながら、「いつまでも住み慣れた場所で過ごしたい」というご利用者様の気持ちに寄り添い、感染予防対策の中でも楽しみを持ってリハビリテーションや運動、デイケアでの活動に取り組めるよう支援していく。

《重点推進課題》

1. 楽しみをもって活動できるプログラムの実践と評価 《基本方針 ①②》

ご利用者様本人が運動やリハビリテーションが「楽しい」と思えるような、プログラムの作成と実践、評価を行っていく。

【指標・評価方法】

心身機能の評価をもとに3ヵ月ごとのケアカンファレンスを継続し、「各々に合ったプログラムであるのか」「楽しみをもって活動できているのか」等、プランの確認と見直しを行う。その際、ご利用者様本人の思いを最大限に汲み取り、ご家族様、居宅介護支援事業所等と情報共有を行い「楽しみながら頑張る」気持ちをプログラムへ反映させていく。

各種会議・委員会

	会 議 予 定	開 催 日
会議	デイケア会議	毎月第1水曜日 17:00～
	ケースカンファレンス	随時
	主任会議	第1・3木曜日 17:00～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時
委員会	褥瘡予防対策委員会	第1木曜日 16:30～
	感染症予防対策委員会	第2木曜日 16:30～
	身体拘束廃止委員会・虐待防止委員会	第3木曜日 16:30～
	事故防止検討委員会	第4木曜日 16:30～
	広報委員会	第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3水曜日 17:00～

年間行事予定・予算

(単位:円)

月	行 事 名	予 算 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	桜湯の日	運営費 2,000 × 1 回	0	2,000	2,000
5月	お花見ドライブ	実費	0	0	0
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 800 × 37 人	29,600		29,600
7月	薄荷湯の日	運営費 2,000 × 1 回	0	2,000	2,000
8月	夏祭り週間	運営費 5,000 × 6 回		30,000	30,000
9月	敬老祝賀会 敬老祝週間	利用者食事代(当日) 800 × 37 人 記念品代 660 × 95 人 記念品代(賀寿) 4,400 × 10 人 運営費 5,000 × 6 回	29,600	62,700 44,000 30,000	166,300
10月	レクリエーション大会 りんご湯の日	運営費 5,000 × 6 回 運営費 2,000 × 1 回		30,000 2,000	30,000 2,000
12月	年末ビンゴ大会 忘年会	プレゼント代 1,320 × 95 人 利用者食事代(当日) 800 × 37 人	29,600	125,400	155,000
1月	みかん湯の日	運営費 2,000 × 1 回	0	2,000	2,000
3月	薬湯の日	運営費 2,000 × 1 回	0	2,000	2,000
通年	レクリエーション制作教材費 ボランティア謝礼 誕生祝い(プレゼント代)	27,000 × 12 ヶ月 5,000 × 12 回 550 × 95 人		324,000 60,000 52,250	436,250
		合 計	88,800	768,350	857,150

【備考】

※お花見ドライブ、ボランティア受け入れは感染症予防対策の状況に合わせて実施を検討する

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

ご利用者様が可能な限り、その居宅や地域において、その有する能力に応じ自立した日常生活を目指すため、心身機能の維持や改善のみではなく、「活動」や「社会参加」などにも働きかけた支援を展開していく。

《重点推進課題》

1. 退院退所後のご利用者様に対して充実した自宅生活支援の提供を行う

《基本方針 ①②》

退院退所直後で自宅に戻ったばかりのご利用者様に対して、ご本人様、ご家族様の課題を速やかに抽出し、適切なサービスを提供する。把握した課題に関しては、ケアマネジャーや他事業所との情報共有を図る。また、必要に応じて多職種(PT、OT、ST)の介入を検討する。

【指標・評価方法】

老健、通所のリハビリ職員の配置、担当の体制を見直すことにより、訪問リハビリに多職種が必要に応じて介入できるようにする。また、居宅介護支援事業所や病院に対し、多職種での受け入れ可能状況等の情報伝達を定期的に行っていく。

在 宅 手 稻

職員内部研修計画

(ゆうゆう入居)

実施月	研修内容	講師等
4月	事故・ヒヤリハットの分析と対策(2022年度集計より)	事故対策委員
5月	倫理・法令遵守について	研修委員
6月	感染症予防対策(食中毒の予防)について	研修委員
7月	身体拘束・虐待防止について①	管理者
8月	認知症の理解について	管理者
9月	感染症や非常災害時の業務継続計画について	研修委員
10月	感染症について(訓練含む)	研修委員
11月	身体拘束・虐待防止について②	身体拘束廃止委員会
12月	個人情報・プライバシーの保護について	研修委員
1月	接遇について	管理者
2月	介護事故発生又は再発防止について	事故対策委員
3月	介護職のための医療知識及び緊急時対応について	管理者
その他	新規採用職員研修	各事業の主任など

(手稲ゆうゆう通所)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇について	生活相談員
5月	事故防止について①	介護職員
6月	感染症・食中毒の予防について①	管理栄養士
7月	プライバシーの保護について	生活相談員
8月	緊急時の対応方法について	生活相談員・看護職員
9月	身体拘束廃止について	生活相談員
10月	感染症・食中毒の予防について②	管理栄養士
11月	非常災害時の対応について	生活相談員
12月	認知症について	介護職員
1月	高齢者虐待防止について	生活相談員
2月	事故防止について②	介護職
3月	職業倫理及び法令順守について	管理者
随時	新規採用職員研修	主任・副主任

(手稲ゆうゆう居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇マナーについて	介護支援専門員
5月	法令遵守について	介護支援専門員
6月	感染症について(訓練含む)	介護支援専門員
7月	苦情対応について	介護支援専門員
8月	身体拘束・高齢者虐待防止について	介護支援専門員
9月	非常災害時の事業継続について(BCP)	介護支援専門員
10月	感染症について(訓練含む)	介護支援専門員
11月	ハラスメントについて	介護支援専門員
12月	個人情報保護について	介護支援専門員
1月	身体拘束・高齢者虐待防止について	介護支援専門員
2月	メンタルヘルスについて	介護支援専門員
3月	介護保険制度改正について	介護支援専門員
その他	外部研修(札幌市、ケアマネ連協、包括支援センター、他事業所、他)	外部講師

(手稲ゆうゆう訪介)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇マナーについて	管理者
5月	介護技術研修(認知症ケアについて)	サービス提供責任者等
6月	感染症について(訓練含む)	管理者
7月	人権擁護・虐待防止について	管理者
8月	身体拘束について	サービス提供責任者等
9月	感染症や非常災害時の業務継続計画について	管理者
10月	感染症について(訓練含む)	管理者
11月	個人情報保護に関する研修	サービス提供責任者等
12月	介護技術研修(身体・生活援助)	サービス提供責任者等
1月	訪問介護計画書・サービス記録に関する研修	サービス提供責任者等
2月	リスクマネジメント研修	サービス提供責任者等
3月	他サービスとの連携について	管理者

(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう
手稲ゆうゆう(介護予防)通所介護事業所
手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所
手稲ゆうゆう(介護予防)訪問介護事業所
手稲ゆうゆう 指定居宅介護事業所
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

ご入居様様が手稲ゆうゆうで継続的に暮らしていくために、日常で楽しみにされている食事と日々の運動を通して、健康で充実した生活が送れるように支援する。

《重点推進課題》

1. 健康保持及び重度化予防 《基本方針 ①②》

ご入居様様が笑顔で健康に暮らせるよう、個々人の疾病を理解し、心に寄り添ったケアを実施する中で、体調変化を見落とすことがないよう、早期発見に努める。

また、運動及び食事摂取、睡眠状況等の観察を継続し、健康保持を図る。

【指標・評価方法】

- ① ご家族様、訪問診療医と情報を共有し、病気を早期発見する。
- ② 管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する。
- ③ 予防対策を継続しながら、状況に合わせた BCP の作成及び見直しを図る。
- ④ 日々の体操や入居様一人ひとりに合わせた運動を行って、体力を維持する。
- ⑤ LIFE を活用(フィードバック)して、自立支援及び重度化防止に取り組む。
- ⑥ 感染予防対策により中止していた外出行事を再開する。

年間会議予定

会議 予 定 (開 催 日)		対 象 職 員
通年	ユニット会議・・・毎月開催	全職員
	職員会議・・・毎月第4水曜日15:00開催	全職員
	運営推進会議・・・2カ月に1回奇数月第4水曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他

年間行事予定・予算

(単位:円)						
月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		1,480
5月	端午の節句 母の日	女性入居者お祝い	柏餅代 220 × 18 人 カーネーション代 ケーキ代 550 × 17 人 予備費	3,960 2,000 0	3,000 9,350	
	お花見	ドライブ、桜見物を行う	予備費		1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		20,790
6月	開設記念日(1日)	祝賀会	装飾費 予備費		5,000 5,000	
	父の日	男性入居者お祝い	ケーキ代 550 × 1 人 予備費	9,000	550	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		21,030
7月	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		1,480
8月	夏祭り	夏祭り	運営費		50,000	
	七夕	七夕の飾りを行う	装飾費		2,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		53,480
9月	敬老祝賀会	祝賀会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18 人 装飾費 御家族食事代 600 × 18 人 記念品代 660 × 18 人 祝品代 2,500 × 18 人 予備費	10,800	2,232 10,000 11,880 45,000 10,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		91,392
10月	紅葉狩り	ドライブ、紅葉狩りを行う	予備費	0	5,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		6,480
11月	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		1,480
12月	クリスマス会・忘年会	クリスマス・忘年会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18 人 装飾費 プレゼント代 1,100 × 18 人 御家族食事代 600 × 18 人 ケーキ代 予備費	10,800 10,000	2,232 10,000 19,800 10,000	
1月	お正月 新年会	ゲーム等を行い新年をお祝いする	装飾費 ゲーム材料代 和菓子代 330 × 18 人	5,940	20,000 3,000	28,940
2月	節分		豆代	1,000		1,000
3月	桃の節句	出前寿司	装飾費		2,000	2,000
通年	書籍代				20,000	20,000
	ユニット装飾費(春・夏・秋・冬)				20,000	20,000
	園芸用品代(野菜を収穫する)				20,000	20,000
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施					
合 計				65,340	287,044	352,384

※外出行事については、感染状況を踏まえ実施予定とする。中止の場合は室内での行事を検討。

手稲ゆうゆう通所介護事業所

感染予防に伴い制限ある活動が長く続き、ご利用者様及びご家族様の疲弊感が強く感じられる。このことから、ご利用者様の満足度を高めるべく、感染予防対策を講じながらの新たな活動(レク・行事)の提供を目指す。また、職員間の情報伝達を円滑にすることで、チームワーク能力を向上させ、ご利用者様へのサービス提供体制を強化していく。

《重点推進課題》

1. 感染予防対策を継続しながら、新たな活動(レク・行事)の提供を検討し、ご利用者様のサービス満足度を高めていく。 《基本方針 ①②③》

【指標・評価方法】

- ① 感染予防効果の保持及び職員の業務負担軽減を考慮した、感染予防対策の見直しを図る。
- ② ボランティアの受け入れ再開について検討する。
- ③ ご利用者様の満足度を高めるため、活動の種類及び回数の増加等について検討する。

2. 情報共有の再構築を図り、ご利用者様へのサービス向上を目指す。

《基本方針 ①④》

【指標・評価方法】

- ① 職員間のコミュニケーションを深めるため、日頃から「感謝・謙虚」の気持ちを意識し、「笑顔」で業務に取り組む。
- ② ご利用者様の処遇(介護方法)を目的とした会議を行い(月1回)、ケアの統一を図る。また、的確な情報伝達を図るため、職員情報交換ノートを活用する。

年間会議予定

	会 議 予 定	開 催 日
会議	デイサービス会議	毎月第4水曜日 17:30～
	ケースカンファレンス・モニタリング	随時
	サービス担当者会議	随時

年間行事予定・予算

(単位:円)

月	行 事 名	費 用 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 800 × 40 人	32,000		32,000
9月	敬老祝賀会 (3日間実施予定)	利用者食事代(3日間) 267 × 120 人 記念品代 550 × 120 人 記念品代(賀寿) 4,400 × 15 人 運営費	32,040	66,000 66,000 16,500	180,540
12月	忘年会 (3日間実施予定)	プレゼント代 550 × 120 人 利用者食事代(おやつ代含む) 267 × 120 人 運営費	79,200	66,000 16,500	161,700
2月	節分	運営費		3,300	3,300
通年	レクリエーション制作教材費 誕生会(プレゼント代) ボランティア謝礼	24,000 × 12 ヵ月 550 × 120 人 5,000 × 12 回		288,000 66,000 60,000	414,000
合 計			143,240	648,300	791,540

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

ご利用者様の多様性を理解し、寄り添いながら、住み慣れた自宅で自立した生活を継続していけるように支援する。

また、新規ご利用者様の開拓ができるよう、コロナ禍の影響で滞っていた地域との交流についても、再開できることを目標とし、顔の見える体制作りを行う。

《重点推進課題》

1. ご利用者様の自立支援と新規ご利用者様の開拓 《基本方針 ①②③④》

介護支援専門員として専門性の視点で、ご利用者様及び養護者様に限らず、それ以外の介護に携わる知人、地域の皆様にも目を向けた支援を目指す。

また、感染予防対策に伴い、控えていた地域の皆様との交流機会の再開を目指し、地域に頼られ、気軽に相談できる事業所づくりに取り組む。

【指標・評価方法】

- ① 介護支援専門員としての知識と技術の向上を目指し、積極的な研修への参加、事業所内の事例検討の振り返りやロールプレイを取り入れる等の工夫をする。
- ② 手稲区合同で行われる認知症カフェ「Sunny Memory」に参加することや、独自で行っている認知症カフェの再開を目指し、地域の皆様や他事業所との交流を通し、当事業所の認知度を高めていく。また、外勤の際に、介護保険施設や高齢者住宅等の関係機関に出向き顔の見える関係作りを目指す。

**手稲ゆうゆう訪問介護事業所
手稲ゆうゆう札幌市訪問介護相当型サービス事業所
手稲ゆうゆう居宅介護事業所**

新型コロナウイルス感染症や感染予防対策の実施、更には、昨今の社会状況において職員の確保が難しい状況も重なり、安定したサービス提供が困難な状況であるが、「ご利用者様の笑顔」「ご家族様の笑顔」の為に、サービスの維持・向上を図る。

《重点推進課題》

1. 安定したサービスの提供 《基本方針 ①②④》

ご利用者様、ケアマネジャーとの信頼関係を築き、安定したサービスを提供することでご利用者様の自立支援に向けた支援を行う。

【指標・評価方法】

- ① 報告・連絡・相談、的確な指示が可能となるよう、ICT(ケアパレットや LINE ワークス)を活用し、職員間での情報共有を円滑に行う。
- ② 訪問介護職員(職員高齢化、担い手不足)の新規採用については極めて難しい状況であることから、在籍中の職員一人一人が長期的に就労できるよう、稼働内容を確認しながら調整する。
- ③ サービス提供責任者(役職者)が、所内で連絡対応できるよう、担当件数の見直しを図る。役職者の担当件数を現在の20件程度から、10件程度とする。

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

新型コロナウイルス感染症は感染症法の5類への引き下げが決定しているが、感染リスクやクラスターへの対応は変化することなく、介護予防活動を展開していく必要がある。屋内外での活動や、自宅で介護予防に取り組みを継続した支援と、ICTの活用ができる仕組みづくりに努め、地域の皆様が「望むこと」を実現できるよう支援し、活性化をねらう。

《重点推進課題》

1. 介護予防の普及啓発 《基本方針 ①②③》

介護予防が地域の皆様に身近な存在である必要がある。より身近な相談機関であるために関係性の構築し共に歩んでいく。

【指標・評価方法】

- ① 介護予防教室における参加者様の定着と増加、新規で参加しやすいような方法や仕組みづくりを行う。
- ② 通いの場や介護予防教室でニーズを把握し、事業についての認知・理解度を高める。
- ③ 町内回覧のチラシ及びパンフレットについて目に留まるものにし、成果をカウントする。
- ④ 星置地区の回覧ができない町内会へ、地区の広報誌に掲載依頼を行う。
- ⑤ 様々な介護予防の目的から、身体機能維持向上、つまり運動に特化し、介護予防の入り口として取り組みやすいようにする。

2. 通いの場への支援 《基本理念 ①②③》

既存の通いの場へ支援の質を高め、空白地帯に自主活動サークルの立ち上げを目指し、地域の皆様の活性化を図る。

【指標・評価方法】

- ② 新しい運動プログラムの作成を取り入れて実施に繋げる。
- ② 通いが難しい方へも、オンライン介護予防教室にて心身ともに健康に留意できる機会づくりと支援を実施する。
- ③ 他地区の介護予防センターの地域の関わりについて相談や見学を行い、担当地区への還元を図る。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 事 業 所
通 年	地区地域ケア会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター・手稲区社協)(月1回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(年12回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業(2月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共催事業)(9月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区福祉のまち推進センター事務局会議(月1回 第1木曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区各種団体新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区認知症対策検討委員会(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活 動 名	費 用 内 容	金 額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 材料費代	実施回数 3回 8,000 実施回数 1回 3,000 実施回数 3回 3,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	14,000
5月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 7,000	
	屋外すこやか倶楽部	熱中症対策	実施回数 3回 4,500	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	11,500
6月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 7,000	
	屋外すこやか倶楽部	熱中症対策	実施回数 3回 3,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	10,000
7月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 7,000	
	屋外すこやか倶楽部	熱中症対策	実施回数 3回 3,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	10,000
8月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 7,000	
	屋外すこやか倶楽部	熱中症対策	実施回数 3回 3,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	10,000
9月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 7,000	
	講師謝礼代		実施回数 1回 3,000	
	屋外すこやか倶楽部	熱中症対策	実施回数 3回	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	10,000
10月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 7,500	
	講師謝礼代		実施回数 1回 3,000	
	屋外すこやか倶楽部		実施回数 3回	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	10,500
11月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 8,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	8,000
12月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 8,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	8,000
1月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 2回 6,000	
	講師謝礼代		実施回数 1回 3,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	9,000
2月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 8,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	8,000
3月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回 8,000	
	材料費代		実施回数 3回 4,000	
	オンラインすこやか倶楽部		実施回数 2回	12,000
	介護予防機能強化業務 (旧一般介護予防モデル事業)	会館費用 運動用ゴムバンド代 材料費代(資料作成・印刷・運動CD作成物品等)	実施回数 12回 54,000 50,000 実施回数 36回 21,600	125,600
	地域福祉活動支援事業	材料費代(講話資料・物品購入・印刷代等)	実施回数 32回 14,400	14,400
		オンライン接続料金(モバイルルーター代)	実施回数 12回 38,400	38,400
		iPad購入費用	70,000	70,000
	その他活動予備費	その他介護予防事業等の予備経費	40,600	40,600
合 計			410,000	410,000

特 養 音 更

職員内部研修計画

(ロータス音更)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	感染症予防対策について	感染予防対策委員会
5月	事故防止対策、身体拘束廃止について	各委員会委員長
6月	認知症について	通所介護事業所
7月	看取り介護について	看取り介護検討委員会
8月	避難訓練	施設向上研修委員会
9月	救命救急・緊急時対応について	施設向上研修委員会
10月	人権擁護、虐待防止について	虐待防止委員会
11月	事故防止対策について	事故防止対策検討委員会
12月	感染症予防のための実技訓練	感染予防対策委員会
1月	避難訓練	施設向上研修委員会
2月	災害・緊急時施設内対応	施設向上研修委員会
3月	口腔・嚥下機能について	つがやす歯科
その他	新規採用職員研修	各担当職員
	ユニットケア研修	各担当職員

介護老人福祉施設 ロータス音更
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所
ロータス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所
音更町地域包括支援センター ロータス音更
あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更

特別養護老人ホームとして、ご入居者様やご家族様のニーズに沿った質の高いケアを最後まで提供することで、希望した生活が続けることができる施設を目指す。

《重点推進項目》

1. ご入居者様一人ひとりが望む生活を実現するとともにご入居者様及びご家族様が安心できるケアを提供する。 《基本方針 ①②④》

一人ひとりに合ったケアを提供するため、ご入居者様の日々の変化に合わせ、多職種が連携し、迅速に対応する体制を整える。また、コロナ禍において希薄となったご家族様との繋がりを深められるよう努め、ご入居者様及びご家族様が安心できる生活を提供できるようにする。

【指標・評価方法】

- ① ご入居者様一人ひとりのニーズや課題を明確化するため、日常の会話や出来事、認知症状、医療面などを細かに記録し、ユニット会議やカンファレンスにおいて情報の集約及びケアの内容を検討し、実施する。
- ② ご入居者様が安心できる生活環境を目指し、四季を感じていただく設えとともに季節に合わせた行事を開催する。併せて感染予防対策に配慮しながら、ご家族様が参加できる行事を検討し、実現していく。
- ③ ご入居者様が安心してケアを受けることができるよう、職員の接遇を見直すとともに介護、医療に関する専門性を高める研修などを受講し、個人及び施設全体で質の高いサービスを目指す。
- ④ ご家族様が希望するサービス内容と実際のケアに乖離がないか確認するため、ICT化を進め、密に連絡がとれる体制を整える、また、ご家族様向けのアンケートを半期に1度実施し、ご入居者様及びご家族様が希望する生活やケアの内容について確認を行う。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	4月・10月 第1水曜日 16:30～
	運営ミーティング	毎月第1木曜日 15:45～
	ケアプランカンファレンス	毎週火曜日 11:00～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
研 修	施設内研修	毎月第4火曜日 16:30
懇談会	給食懇談会	毎月第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月第4木曜日 15:45～
	虐待防止対策検討委員会	4月・10月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	身体拘束廃止委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	事故防止対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2水曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4水曜日 15:45～
	施設向上研修委員会	4月・6月・8月・10月・12月・2月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第3木曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2木曜日 15:45～
	口腔機能向上委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4金曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	—	春のイベント食	春を感じる特別な食事を提供する。
5月	—	お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く(徒歩圏内)
	1日(月)	開設記日	開設記念日に特別な食事を提供する。
6月	—	夏のイベント食	夏を感じる特別な食事を提供する。
7月	—	夏祭り	各ユニットにて夏祭りを実施する。
8月	—	納涼会	ユニット毎に食事をして楽しむ。
9月	18日(月)	敬老祝賀会	長寿を祝い、記念品の贈呈を行う。
10月	—	秋のイベント食	秋を感じる特別な食事を提供する。
11月	—	冬のイベント食	冬を感じる特別な食事を提供する。
12月	—	クリスマス会・忘年会	ユニット毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
1月	—	正月	お正月の食事メニューを楽しむ
2月	3日(土)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。
3月	3日(日)	ひな祭り行事	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。

【備考】

※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施

※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施

※「変わり湯」季節を感じることができる入浴を行う。

※「床屋」毎月第4火曜・第1、第2、第4火曜・第2木曜、第4日曜

※「避難訓練」年2回実施(日中・夜間想定)

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
5月	開設記念日	1日	開設記念の特別食を提供	入居者食事代 700 × 80 人	56,000		56,000
6月	夏のイベント食	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
7月	夏祭り	24日	各ユニットにて夏祭りを行う。	入居者食事代 1,000 × 80 人 飾り付け材料代外 200,000 ゲーム景品代 5,000	80,000	200,000 5,000	
	イベント食	—	土用の丑の日	入居者食事代 100 × 80 人	8,000		293,000
8月	納涼会	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
9月	敬老行事	18日	長寿を祝い、表彰を行う。	入居者食事代 700 × 80 人 被表彰者記念品 3,000 × 10 人 お茶菓子 300 × 80 人	56,000 24,000	30,000	110,000
10月	秋のイベント食	—	イベント食を楽しむ(お寿司行事)	入居者食事代 500 × 80 お茶菓子代 200 × 80	40,000 16,000		56,000
11月	冬のイベント食	—	お楽しみ食事会	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
12月	クリスマス・忘年会	—	各ユニットにてクリスマスを楽しむ	飾り付け材料代外 1,500 × 8 ユニット プレゼント代 300 × 80 人 鍋行事、飲み物代 500 × 80 人 クリスマス用献立 100 × 80 人 入居者食事代 300 × 80 人	40,000 8,000 24,000	12,000 24,000	108,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 800 × 80 人 飲み物代等 100 × 80 人	64,000	8,000	72,000
2月	節分	3日	豆まきを楽しむ	豆と代替え食品代 5,000 巻き寿司、いなり 200 × 80 人	16,000	5,000	21,000
3月	ひな祭り行事	3日	行事食を楽しむ(寿司行事)	生寿司 500 × 80 人 お茶菓子代 300 × 80 人 デザート行事 食材費 10,000	40,000 10,000	24,000	74,000
通年	誕生会 ユニット行事 入浴行事 季節のお菓子 ご家族様への手紙		誕生日プレゼント 各ユニットでイベントを開催する。 変わり湯を楽しむ 季節のお菓子 毎月、近況報告の手紙と写真を送付する。	プレゼント代 1,300 × 80 人 材料代 2,000 × 8 回 材料代 2,000 × 4 回 食材費 800 × 80 人 × 1 年間 切手代 84 × 80 人 × 12 回 写真現像費用 7 × 80 人 × 12 回	64,000	104,000 16,000 8,000 80,640 6,720	279,360
合 計					642,000	523,360	1,165,360

ロータス音更(介護予防)通 所 介 護 事 業 所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

ご利用者様の認知症状や身体状況の変化に伴い変わっていく、ご利用者様やご家族様のニーズを的確に把握する。その結果、ご利用者様が生きがいを感じながら生活を送れるよう、また、ご家族様が安心してご利用者様を預けられるようなサービスの提供を目指していく。

《重点推進課題》

1. ご利用者様やご家族様のニーズを把握し、専門性を生かしたケアを実施することで、個々に寄り添った支援を行う。 《基本方針 ①②④》

各専門職が、各々の知識と技術を生かし、ご利用者様の抱える身体的な課題や認知的な課題の解決に努める。また、ご利用者様の些細な変化に気づき対応することで、よりその人らしい生活が送れるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ① ご利用者様及びご家族様へ定期的にアンケートや聞き取り調査を行い、ニーズを把握する。また、その結果を反映し、創作活動や脳トレーニング、レクリエーション活動などのプログラムを提供する。
- ② 認知症状に合わせたプログラム活動を実施し、6か月ごとに評価を行う。また、評価内容をご利用者様、ご家族様と共有し、目標の達成状況や課題について検討を行い、新たな課題に対してのプログラムを作成する。
- ③ 集団体操や個別機能訓練のプログラム内容の検討及び見直しを定期的に行い、楽しみながら、意欲的に参加できる活動を提供することで、ご利用者様の認知機能や身体機能維持を図る。
- ④ 職員のスキルアップのため、認知症や高齢者医療、介護技術、レクリエーション技術、相談援助技術の研修などを受講し、学んでいく。

年間会議予定

	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通 年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1～3回)	全職員

年間行事予定・予算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食 農園・園芸活動	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 花や野菜などの成長と収穫を楽しむ。	食事代 300 × 30 人 園芸用品代 8,000	9,000	8,000	17,000
5月	母の日週間 入浴イベント(菖蒲湯)	母の日を祝う 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	プレゼント代 300 × 70 人 入浴材料代 2,000		21,000 2,000	23,000
6月	夏のイベント食 父の日週間	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 父の日を祝う	食事代 300 × 30 人 プレゼント代 300 × 15 人	9,000	4,500	13,500
7月	夏祭り行事(3日間) イベント食	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施 土用の丑の日	飲食代(屋台風) 400 × 30 人 製作材料・ゲーム景品代 5,000 食事代 100 × 30	12,000 3,000	5,000	20,000
8月	入浴イベント(季節の香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	入浴材料代 100 × 30 人		3,000	3,000
9月	敬老週間 敬老イベント食	敬老の飾り付けと記念品の贈呈の開催。 イベント食を提供し楽しむ	節目対象者記念品代 1,500 × 10 人 全員対象記念品代 500 × 85 人 製作材料費 3,000 食事代 400 × 30 人	 12,000	15,000 42,500 3,000	72,500
10月	秋のイベント食 入浴イベント(季節の香り) 運動レク	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ DVD利用し、音楽体操などを実施	食事代(お寿司行事) 500 × 30 人 入浴材料代 100 × 30 人 製作材料費 4,000	15,000	3,000 4,000	22,000
11月	冬のイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	製作材料費 300 × 85 人		25,500	25,500
12月	クリスマス忘年会(3日間)	クリスマス・年末イベント	プレゼント代 600 × 85 人 製作材料・ゲーム景品代 7,000 クリスマス献立 100 × 30 人	 3,000	51,000 7,000	61,000
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 30 人	12,000		12,000
2月	節分行事	豆まきや食事、お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 2,500 巻き寿司材料費 200 × 30 人	 6,000	2,500	8,500
3月	ひな祭りイベント食 ひな祭り行事	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	食事代(お寿司行事) 500 × 30 人 おやつ材料費 2,500	15,000	2,500	17,500
通 年	レクリエーション製作材料費 誕生会(プレゼント代) 利用者購読用 新聞代 季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数85人) カフェ行事		7,000 × 12 ヶ月 700 × 85 人 週刊誌代(2種類) 2,500 × 12 ヶ月 道新スポーツ・勝毎購読料 5,962 × 12 ヶ月 800 × 85 人 飲食材料代 2,000 × 12 ヶ月	 68,000 24,000	84,000 59,500 30,000 71,544	337,044
合 計				188,000	444,544	632,544

年間会議予定

	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1回)	全職員

年間行事予定・予算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12 人	3,600		
	農園・園芸活動	花や野菜などの成長と収穫を楽しむ	園芸用品代 7,000		7,000	10,600
5月	母の日週間	母の日を祝う	プレゼント代 300 × 18 人		5,400	
	入浴イベント(菖蒲湯)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	入浴材料代 100 × 12 人		1,200	6,600
6月	夏のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12 人	3,600		
	父の日週間	父の日を祝う	プレゼント代 300 × 7 人		2,100	5,700
7月	夏祭り行事(3日間)	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代(屋台風) 1日 400 × 12 人	4,800		
			製作材料・ゲーム景品代 3,500		3,500	
	イベント食	土用の丑の日	食事代 100 × 12	1,200		9,500
8月	入浴イベント(季節香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	入浴材料代 100 × 12 人		1,200	1,200
9月	敬老週間	敬老の飾り付けと記念品の贈呈の開催。	節目対象者記念品代 1,500 × 2 人		3,000	
			全員対象記念品代 500 × 25 人		12,500	
			製作材料費 2,000		2,000	
	敬老イベント食	イベント食の提供	食事代 400 × 12 人	4,800		22,300
10月	秋のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 500 × 12 人	6,000		
	入浴イベント(季節の香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	入浴材料代 100 × 12 人		1,200	
	運動レク	運動DVDを流しながら実施	材料費 4,000		4,000	11,200
11月	冬のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12 人	3,600		3,600
12月	クリスマス忘年会(3日間)	クリスマスや年末にちなんだイベントの開催	プレゼント代 600 × 25 人		15,000	
			製作材料・ゲーム景品代 4,000		4,000	
			クリスマス献立 100 × 12 人	1,200		20,200
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 12	4,800		4,800
2月	節分行事	豆まきや食事、お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 1,500		1,500	
			巻き寿司材料費 200 × 12	2,400		3,900
3月	ひな祭りイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 500 × 12 人	6,000		
	ひな祭り行事	ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 1,500		1,500	7,500
通年	レクリエーション製作材料費		3,000 × 12 ヶ月		36,000	
	誕生会(プレゼント代)		700 × 25 人		17,500	
	カフェ行事		飲食材料代 1,000 × 12 ヶ月	12,000		
	季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数25人)		800 × 25 人	20,000		85,500
			合 計	74,000	118,600	192,600

音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町 C 圏域の地域包括支援センターとして3年が経ち、総合相談窓口として地域に周知を図る事が出来ており、今年度についても各種相談に対し、ワンストップ機能の徹底を図ります。また 2023 年度からは新たに音更町一般介護予防事業を受託し、地域の皆様との関わりを強化するとともに、町内会や民生委員・老人会との関わりにも重点を置き、各地域の課題の把握にも務める。

《重点推進課題》

1. 総合相談窓口としてのワンストップ機能強化と地域課題の把握と地域活動及び介護予防事業への参画 《基本方針 ①②③④》

総合相談窓口として、どのような相談に対しても、各専門職の専門性を活かし “ ONE TEAM ” となって相談解決への対応を行うとともに、必要に応じて関係機関へ繋ぐ役割を実践していく。各専門職が更なる能力向上を図るために、積極的に研修等を受講し、対応力の向上を図り、ワンストップ機能の強化を図る。また地域活動再開を見据え、民生委員や地域の皆様との関わりを増やすとともに、介護予防事業の円滑な運営に務めていく。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センターロータス音更が地域拠点の総合相談の拠点として機能していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 各専門職の能力を補う、または向上を図るため研修を年間2回は受講する。
- ③ 音更町一般介護予防事業『あすなろクラブ』の運営を受託し、関係事業所とともに円滑な運営に務めていく。
- ④ 民生委員との意見交換会の開催を提案し、地域課題について検討していく。
また独居高齢者世帯への独自の実態把握を行う事を目的に、事前にアンケートを配布して効率良く実態把握を実施し、地域の課題や資源について把握していく。

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

ご利用者様、ご家族様が望む生活を実現するため、心身の状況や病状の理解、ご利用者様に影響を与えるその他の因子などを把握し、ご利用者様の能力に適したサービス提供が行えるよう、保健・医療・福祉サービス事業所と連携を図り、ケアマネジメント業務に務める。

《重点推進課題》

1. ご利用者様の心身の状況や、ご利用者様に影響与える環境を把握し、適切なタイミングで必要な支援が提供できるよう事業所内でケースの相談や検討を行うとともに、介護支援専門員個々の技術向上を目指す。 《基本方針 ①②④》

【指標・評価方法】

- ① ご利用者様の心身の状況やご利用者様に与える環境の理解に努め、支援方法について検討できる場を持ち、職員一人一人が抱え込まず協力し合える環境を作る。また相談受付簿や日常業務の中で、ご利用者様の情報を全職員で共有することにより、担当職員以外でもサービスの調整や不測の事態に迅速に対応できるよう、業務改善を図っていく。
- ② 職員各々が自己研鑽に務めアセスメント力の向上を図り、ご利用者様の解決すべき課題を的確に見極め、質の高いケアマネジメントが提供できるよう努める。
- ③ 感染症、災害のリスクについて学ぶ機会を持ち、BCP(業務継続計画)を作成する。

老 健 音 更

職員内部研修計画

(あんじゅ音更)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	接遇向上委員会
5月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止/虐待防止委員会
6月	事故防止について(救命救急)	医療事故防止委員会(音更消防署)
7月	感染予防について	感染予防委員会
8月	虐待防止について	身体拘束廃止/虐待防止委員会
9月	防災について	防災委員会
10月	感染予防について	感染予防委員会
11月	口腔ケアについて	研修委員会
12月	事故防止について	医療事故防止委員会
1月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止/虐待防止委員会
2月	感染予防について	感染予防委員会
3月	福祉用具について	研修委員会

老 人 保 健 施 設 あ ん じ ゅ 音 更

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 あんじゅ音更

ご利用者様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

《重点推進課題》

1. 介護老人保健施設の役割を踏まえた支援 《基本方針 ①②》

ご入所者様の心身状態、ご家族様の思いを共有し、医療と介護、リハビリ・食事・相談援助を一体的に提供し、在宅復帰に向けた支援の充実化を目指す。

【指標・評価方法】

- ① ケアカンファレンスを通じて各職種の担当者を軸に、ご入所者様の心身状態の確認・評価を行い、目標の設定と支援内容の検討をする。状況の変化があれば、随時、ミニカンファレンスを開催し、情報共有や支援内容の修正等を迅速に行えるようにする。
- ② 個別リハビリの実施や集団体操・レクリエーションを通じて活動の機会をつくる。日常生活で実施できるリハビリや自主訓練を各職種で検討し実施する。

2. 安定した入所率の確保 《基本方針 ①②③》

2022年度において入所率の低迷が著明であった。入所までの手順を見直し、入所率の向上・安定化を目指す。また、2024年度介護保険制度改正の情報を素早く読み取り、スムーズに適応できるよう、情報共有する。

【指標・評価方法】

- ① 今年度は95%を目標に施設全体で共有する。
- ② 十勝老健部会による月初めの空所情報案内を通じて、医療機関・居宅介護事業所との連携を強化する。
- ③ 申し込みの時点で「待機者」「即入所希望者」の2グループに分けて管理し、優先順位をつけて素早く面談を行う。
- ④ 退所後の空床期間を短縮できるように、事前に入所判定会議を行い、空床ができた場合に即、入所に繋げられるようにする。
- ⑤ 次期改正の情報を幹部会議にて共有し、今後の対応や加算の取得など検討する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(4月下旬・10月下旬)
	幹部会議	毎月第2水曜日 17:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	毎週水・金曜日 11:00～
	看護師会議	毎月第3火曜日
	フロア会議	2F:毎月第2木曜日 3F:毎月第2金曜日
	リハビリ会議	毎月第1水曜日
	施設内研修	毎月第4水曜日 18:00～
委員会	医療事故防止委員会	委員会 : 毎月第3水曜日 小委員会: 毎月第3水曜日 17:45～
	身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会	委員会 : 毎月第3水曜日 小委員会: 毎月第3木曜日 17:45～
	感染対策委員会	委員会 : 毎月第3水曜日 小委員会: 毎月第1水曜日 17:45～
	褥瘡対策委員会	3ヶ月毎(対象者がいる場合月1回)
	研修委員会	毎月第4火曜日
	給食委員会	毎月第4木曜日
	防災委員会	毎月第3月曜日
	口腔ケア委員会	毎月第4月曜日 11:00～
	衛生委員会	毎月第1月曜日

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
5月		母の日	母の日に合わせた企画をする。
		開設記念日	開設17周年
6月		父の日	父の日に合わせた企画をする。
		運動会	リハビリを兼ねて、運動の機会と交流を目的に行う。
7月		夏レク	各フロアにて夏らしい行事を企画し楽しんでいただく。
8月		夏レク	夏らしいレクリエーションを行い季節感を感じていただく。
9月		敬老の日	入所者の長寿を祝う。
10月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
11月		昼食行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	新年餅つき大会	杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。
2月		節分	干支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		桃の節句	入所者と一緒に調理レクを楽しむ

※「誕生日会」各入所者の誕生日に実施

※「変わり湯」年2回実施

※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施

※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施

※「個別外出」5月～10月の間で入所者の希望に沿った外出を実施

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	寿司行事		入所者の声を反映した食事提供を行う。	入所者食事代 700 × 100 人	70,000		70,000
5月	母の日 開設18周年 個別外出	18(水)	母の日に合わせお祝いをする。 開設記念日に合わせ食事会 入所者の希望に沿った外出を行う。	6,000 入所者食事代 700 × 100 入所者飲食代 実費	70,000	6,000	76,000
6月	運動会 父の日 個別外出		リハビリを兼ねて入所者間の交流を図る。 父に日に合わせお祝いをする。 入所者の希望に沿った外出を行う。	装飾等備品代 20,000 6,000 入所者飲食代 実費	0	20,000 6,000	26,000
7月	夏レク 個別外出		夏らしい行事の実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 500 × 100 人 ジュース代 200 × 100 人 各階飾りつけ代 × 人 ゲーム・花火等 × 人 入所者飲食代 実費	50,000 20,000 10,000 40,000		120,000
8月	夏レク 個別外出		夏らしいレクリエーションの実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	装飾等備品代 20,000 入所者飲食代 実費		20,000	20,000
9月	敬老の日 個別外出		入所者の長寿を祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 700 × 100 人 入所者お茶菓子飲み物 250 × 100 人 高齢者記念品代 2,000 × 15 人 (喜寿・米寿・白寿・100歳以上) 装飾備品代 20,000 入所者飲食代 実費	70,000 25,000	30,000 20,000	145,000
10月	寿司行事 個別外出		入所者の声を反映した食事提供を行う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 700 × 100 人 入所者飲食代 実費	70,000		70,000
11月	昼食行事		季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000		25,000
12月	クリスマス忘年会 行事食 年越し	日 日 31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の 親睦を図る。 クリスマス昼食 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	入所者食事代 500 × 100 人 装飾等備品代 20,000 入所者食事代 100 × 100 人 飲物・菓子・装飾等代 30,000	50,000 10,000	20,000 30,000	110,000
1月	正月 新年餅つき大会	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。	おせち料理 1,300 × 100 人 もち米他材料代 10,000	130,000 10,000		140,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000	10,000	35,000
3月	桃の節句	日	桃の節句調理レク	100 × 100 人	10,000		10,000
通年	誕生日会 変わり湯(8月3月) 喫茶 レク用品 園芸用品 職員食事代 予備費	毎月 2回 日曜	入所者の誕生日に合わせお祝いする。 変わり湯を楽しみ、入浴意欲を高める。 フロアにおける活動費 花壇等の環境整備 外出行事の際の食事代	プレゼント代 1,500 × 100 人 入浴物品代 6,000 × 2 ヶ月 入所者飲物代 実費 レク用品代 10,000 × 2 × 12 ヶ月 園芸用品代 50,000 310 × 50 100,000	15,500	150,000 12,000 240,000 50,000 0 100,000	567,500
合 計					700,500	714,000	1,414,500

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

記録の電子化を最大限活用することで、さらなる業務改善を図り、新たに確保した時間をご利用者様へ還元することを目指す。

また、自立支援を念頭におき、心身機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、リハビリテーションの適正評価を行いながら、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

《重点推進課題》

1. 記録の電子化後のさらなる業務改善への躍進 《基本方針 ①④》

これまで、記録の電子化により業務の円滑化を推進し、業務改善に取り組んできた。今年度さらに躍進すべく、業務改善で得られた時間を有効活用し、個別活動の充実や創作活動の確保時間増に努め、あんじゅの新たなセールスポイントを確立し、より新しいデイケアへと進化する。

【指標・評価方法】

- ① 業務円滑化に伴い確立できた有効時間の活用について「個別活動メニュー」をさらに2つ新たに増やし、活動を通じたご利用者様の役割確保及び社会参加の促進へと繋げる。
- ② 業務円滑化に伴い確立できた有効時間の活用について「創作活動」をさらに充実させ、活動を通じたご利用者様同士の交流機会確保及び機能維持支援を実施する。

2. リハビリ評価尺度の確立 《基本方針 ①②④》

現在、当事業所が提供するリハビリテーションは、大きく分けて、リハビリ職員とマンツーマンで行う「個別リハビリ」、介護職員が付き添い指導する「リハ補助」、決められたメニューをご利用者様自身でこなして頂く「自主訓練」の三段階で構成されている。ご利用者様の身体機能や生活ニーズに合わせて現在の心身機能に応じた適切なリハビリが実施できるようにするため、評価尺度を確立し、専門家からのリハビリテーションを随時卒業し、より自立度の高いリハビリテーションの提供を行う。

【指標・評価方法】

- ① 「個別リハビリ」から「リハ補助」へ移行する段階、「リハ補助」から「自主訓練」へ移行する段階、それぞれにおいての評価尺度を確立するため、リハビリ担当・担当介護職

員・支援相談員の3名でミニカンファレンスを行い、各専門職員の意見を集約し、移行評価を記録していく

- ② 「リハ補助」に登録されているご利用者様の人数が偏っているため、「自主訓練」へ移行する人数をさらに増加し、ご利用者様への適切な移行評価の説明を行い、自主的なリハビリテーション実施へと繋げていく。

年間会議予定

	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員	会議予定(開催日)	対 象 職 員
通年	デイケア会議(不定期開催)	デイケア職員	感染予防委員会(第1水曜日)	担当職員
	リハビリカンファレンス(随時)	デイケア職員	医療事故防止委員会(第2水曜日)	担当職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・正職員	身体拘束廃止/虐待防止委員会(第3木曜日)	担当職員
	施設内研修(第4水曜日)	デイケア職員	防災/研修委員会(第4火曜日)	担当職員
	幹部会議・主任会議(10日以降で設定)	通所主任・通所副主任		

年間行事予定・予算

(単位:円)

月	行 事 名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月					0	0
5月	園芸活動	苗植え (きゅうり、ミニトマトなど)	肥料 4,000 × 1 6,000		4,000 6,000	
	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		30,000
6月						0
7月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
8月					0	0
9月	敬老週間	敬老を祝う	各種表彰 (2023.2.2現在) 喜寿(昭和22年) 米寿(昭和11年) 白寿(大正14年) 高齢者(大正13年以前) 飾り付け代 敬老昼食代	1,500 × 12 5人 5人 2人 2人 20,000 20,000	18,000 10,000	
	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ				68,000
10月						0
11月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
12月	Xmas&忘年会		ケーキ代 200×180人 プレゼント 500×100人 飾り付け 20,000 20,000	36,000	50,000 20,000 20,000	
	変わり湯週間	雰囲気の違いお風呂を提供する (ゆず湯)	20,000			126,000
1月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
2月						0
3月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
通年	物品購入費及びレクリエーション制作材料費		10,000×12ヵ月 1,000×100人		120,000 100,000 12,000 7,500 5,478 13,930	
	誕生日プレゼント代 本代(オレンジページ)(月2回) 本代(杜快)(月1回) 本代(やさいの時間)(2ヶ月に1回) 本代(レクリエ)(2ヶ月に1回)					258,908
予備	予備費				6,000	6,000
			合 計	176,000	392,908	568,908

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、ご利用者様、ご家族様が笑顔で在宅生活を続けることができるよう支援する。

また「活動」や「参加」に焦点を当てた提案やアプローチを行っていく事で、ご利用者様が主体的に日常生活活動を営む事が出来るよう支援する。

そして、ご利用者様の機能に合わせた、適切な福祉用具の選択や住環境整備の提案を行うことで、ご利用者様が在宅生活において、最大限の能力を発揮し、生活の質の向上に繋がられるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援 《基本方針 ①②》

ご利用者様の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行する事で、安心安全な生活を送れるよう支援する。さらに近年、新型コロナウイルス感染症の流行により閉じこもりがちな生活を余儀なくされていたご利用者様がアフターコロナに向けて活動範囲が拡大できるよう、個々に合わせた自主訓練メニューを提案し心身機能の維持向上に繋がるよう支援するとともに、ご利用者様の興味関心に焦点を当てた活動の提案や地域行事への参加促しを行う。また、ご家族様への介護指導や不安等に耳を傾けることで在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ① 医師の診察・指示のもと、ご利用者様個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。またご利用者様やご家族様の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ② 自主訓練メニューなどを提供し訪問リハビリテーション以外の時間も活動できるきっかけを作っていく。また興味関心チェックリストを活用し、ご利用者様が興味関心をもてる活動を模索する。
- ③ 定期的にリハビリテーション会議を開催し、ご利用者様とご家族様、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ④ 年1回、ご利用者様・ご家族様へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務にいかす。